

総合調整会議の概略（2010.5.6）

日 時：平成22年5月6日（水）10：00～11：00

場 所：栗東市役所4階傍聴者控室

出席者：市長、副市長、教育長、部長等

<資料1> 電気自動車用大型リチウムイオン電池製造工場建設計画に対する本市対応について

1. 市長の指示事項

[市長]

- ・採用後数年で転職していく者がおり、新規採用職員が今の仕事に魅力をもって働けるよう、特に意思疎通に気をつけた職場づくりに努めてもらいたい。
- ・後継プランについては、第1弾となるリチウムイオン電池会社の10月の建設工事着工が行えるように、これについては1所属だけで行えるものではないので、それぞれの関係所属が連携して力を発揮して事業に取り組んでもらい、栗東市の活力の回帰に繋げていくこと。
- ・財政状況が先行き不安定な要素がいくつかあることから、経営の安定化に向けて収支のバランスを取るための十分な対応をしていかなければならないことについて認識し、各事業に取り組んでももらいたい。

2. 審議事項

電気自動車用大型リチウムイオン電池製造工場建設計画に対する本市対応について

総務部理事（新駅問題担当）及び地域整備課参事から資料により説明

- ・4月14日に発表された上記工場建設計画を受けて、今後の本市の対応として工場等誘致委員会の意見を踏まえて、本年6月議会に誘致すべき会社工場として議会の承認を求める。また当該議決を踏まえて、本市土地開発公社が理事会の議決を得て、「栗東新産業地区工業団地整備事業」用地の一部（5.6ha）を当該誘致企業に処分する。

[副市長]

- ・議会の委員会はどこになるのか。

[議会事務局長]

- ・総務常任委員会となる。

[総務部理事（新駅問題担当）]

- ・5月26日の新駅特別委員会にも説明予定。

[市長]

- ・委員会には事前に説明をするように。

[副市長]

- ・9月30日の土地の所有権移転にむけて、工事完了検査・分筆については完了しておく必要がある。造成工事の入札が4月30日に終わったことで、元請・下請け含めた工事関係者との調整・説明の場を

早急に設けてほしい。

[総務部理事（新駅問題担当）]

- ・既に発注している仮設道路・水路工事業者も合わせて実施する。

[副市長]

・特に、工事に伴う地元説明において、作業工程に関して地元へ協力を得られるようにしておく必要がある。

[市長]

- ・地元説明会はいつか。

[地域整備課参事]

・まず蜂屋について、地元懇談会の開催を予定している。その後4自治会の説明会を予定している。7月の説明会については、さらに範囲を広げた地元を対象に実施する予定である。

区分：決定

3. 報告事項

各部からの報告について

- ・財政状況について 総務部長より説明

たばこ税について、税制改正により課税定額が昼間人口の3倍から2倍に下がり、税収が大きく減少する。課税定額を超える部分については翌年度県に納めることになる。この影響で今年度予算に歳入不足が生じることになる。たばこ税自体も減少傾向を示している。

また、昨年度からの今年度への繰越財源についても、現在のところ厳しい状況である。

財プロだけでは対応できず、大口の事業の削減や土地売却などにより大胆な歳出の抑制を行う必要がある。

[市長]

- ・経営改革推進室として、大胆な切り込みをするための試案などはあるのか。

[総務部理事]

・経営改革が検討している財源不足への対応は長期的なもので、既に予算を組んだ今年度分についてのものはなく、予算化された事業の中で押さえていくしかない。

[市長]

・長期的だけではなく、今年度の事業の見直しについても経営改革推進室と一緒に検討するべきではないか。

[副市長]

- ・プロジェクトチームなどにより、組織的に対応することについて検討を要する。

[総務部長]

・将来負担比率については、確実に減ってきている。実質公債比率については、返済にあてる公債費のしめる割合で、確実に返済していることでこの率は上がることになる。今一番厳しいのは、単年度のキ

キャッシュフローがうまく回っていないこと。

[市長]

- ・今から乗り切れるように知恵を出し合ってプロジェクト等を通じて対応願いたい。

区分：了解

- ・後継プランの実施状況について 総務部理事（新駅問題担当）より説明

仮設道路 4月21日～6月15日 請負業者 山三設備(株)

仮設水路 4月21日～7月30日 請負業者 三浦建設(株)

造成工事 5月7日～8月31日 請負業者 岐建(株)

区分：了解

- ・治田西保育園民活化について 健康福祉部長より説明

平成22年法人決定、平成23年建替えとなる場合の今後の予算措置について検討。

区分：了解

4. その他

[副市長]

- ・市の財政は大変厳しいものがあるが、こういうときこそ職員が一丸になって解決に向けて取り組んでほしい。

以上